



GoTo きいばす

10月2日(土) 13:30~14:30
第3回きいばすエネルギー教室
「エネルギーとカーボンニュートラル」

10月30日(土)、31日(日)
10:00~12:00、14:00~16:00
ロボットプログラミング教室
定員: 40組(1組は最大4人)

・全3教室実施する内の1回目です。11月に2回目、12月に3回目を予定しています。
・コロナウイルス感染拡大の状況により、日程や内容に変更が生じる場合があります。

10月の予定



たいけんくん

令和3年9月 vol.11

8月の来館者数と太陽光発電量

456人(累計 89,257人)

北ソーラー: 追尾 5,618kWh

南ソーラー: 固定 5,363kWh



出力100kW(1基50kW)

一般家庭で使用する電力量300kWh/月として、約36軒分の電力量を発電しました。



みえるくん

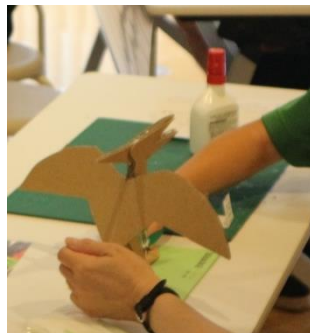


↑液体窒素で凍らせたバナナを使って、釘を打ちこみました。

8月21日に第2回エネルギー教室を開催、参加した親子らは、マイナス19.6度の超低温世界を体験しました。(参加者数14名)



↑標本を観察しながら、世界の珍しい昆虫の生態等についてお話いただきました。



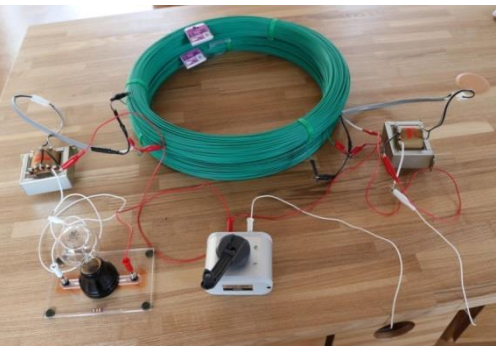
↑使用済み段ボールを利用して「テラノドン」を作りました。

7月31日~8月9日にかけてきいばす夏の特別企画を開催、恐竜と昆虫に焦点を当て、段ボール恐竜の製作体験や講演会を行いました。(参加者数98名)

ベルトンくん



8月のトピック



↑導線を送電線に、手回し発電機を発電所に見立てます。

ここではコンセントの電気が交流である理由を学びます。電気は電線を通るときに一部は熱となって失われてしまいます。でも、電圧を上げて、電流を小さくすると、熱の発生を大幅に減らすことができます。このように電圧を上げ下げするには、直流より交流が適しているのです。発電所の高い電圧の電気は、家庭に届けられるとき100V、200Vにまで下げられます。体験プログラムでは、これらのことを手回し発電機を使った体験を通して学習します。

へっぴくん



体験プログラム

今回は中学2年生の「電気を届ける仕組み」の「長距離送電」をご紹介します。

電気はクリーンなエネルギー、でも、つくり方によって様々なゴミを出している。

かけるくん



電気をつくるときに
出るゴミのお話

火力発電も原子力発電も、蒸気をつくって発電するが、火力発電は二酸化炭素と石炭灰などが発生する。二酸化炭素は大気中に排出され、地球温暖化の原因となっている。原子力発電は二酸化炭素を出さないが、核分裂に伴う高レベル放射性廃棄物が発生し、その処分が課題となっている。太陽光発電は発電時に一切ゴミを出さない。でも太陽光のエネルギー密度が低いため、発電に大量のパネルが必要となり、廃棄時の取り扱いが心配されている。

みんなが使う便利な電気、つくるときに出るゴミについても関心を持ちよう。

詳しく知りたくなったら
きいばすへGO!

